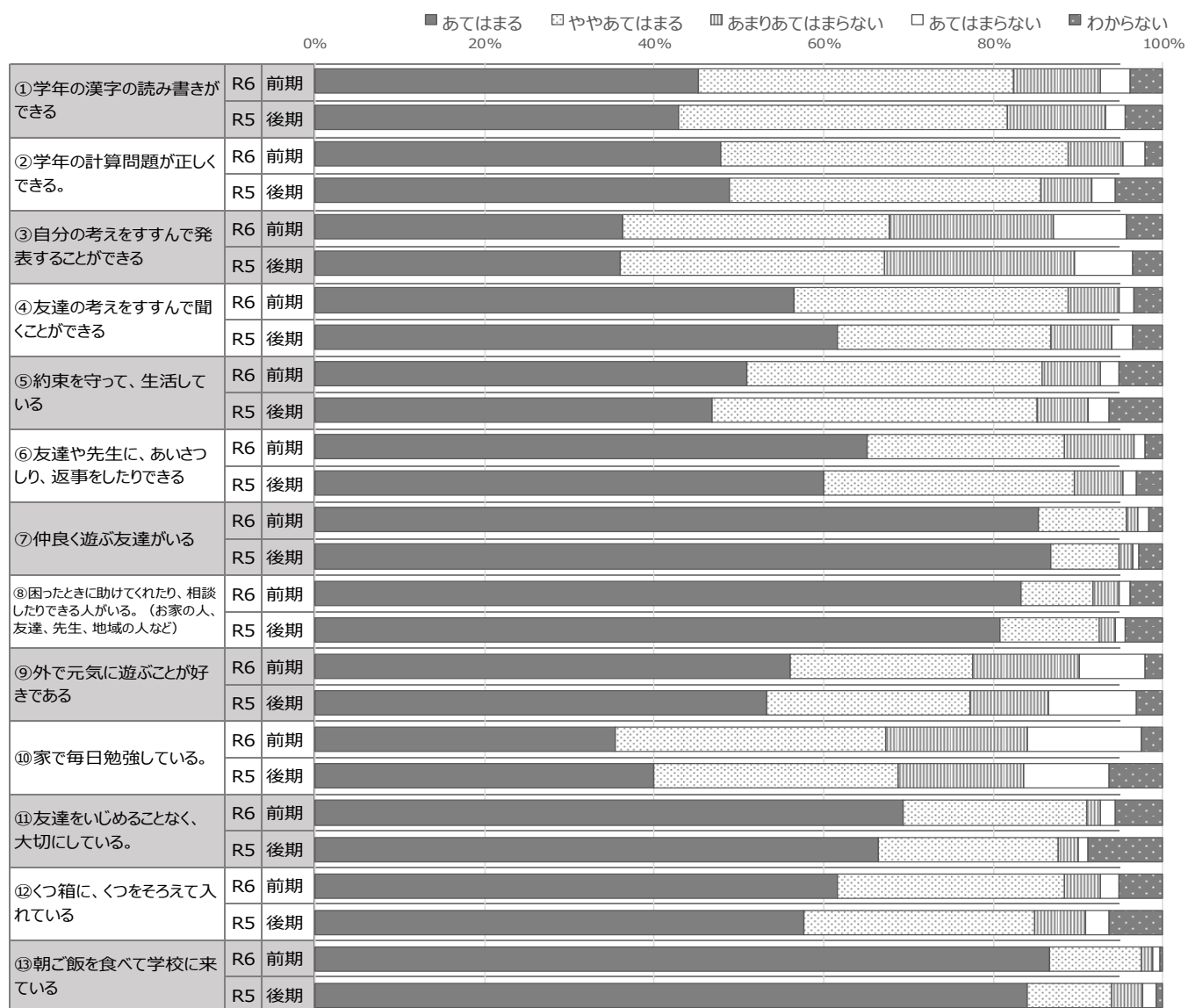


① 学校生活		自分の子どもは、仲良く学校生活を送っている。	R6 前期				
			R5 後期				
②	学校での学習	自分の子どもは、基礎・基本（読み・書き・計算）の学習を身に付けている。	R6 前期				
			R5 後期				
③	家庭での学習	自分の子どもは、家庭学習を進めている。	R6 前期				
			R5 後期				
④	児童の活動	自分の子どもは、様々な行事を通して自分の力や集団の力を発揮している。	R6 前期				
			R5 後期				
⑤	保護者の協力	保護者として、学校の教育活動に支援・協力をしている。	R6 前期				
			R5 後期				

「学校に関すること」の調査項目では、全 15 項目中 10 項目で、令和 5 年度後期よりも肯定的評価（「あてはまる、ややあてはまる」の合計）のポイントが上がりました。

その中で、「⑧学習指導」が最も評価が高く、本校教員の教材研究・開発など日頃の努力を評価していただき、心から感謝しています。「⑪キャリア教育」や「⑮授業評価」も肯定的評価が高く、引き続き努力してまいります。逆に最も否定的評価が高かったのが「③小中一貫教育」でした。今後、横山中学校・散田小学校と連携を図るとともに活動の在り方等についても検討を重ね、実の伴う小中一貫教育の進め方を模索してまいります。「分からない」という回答が最も多かったのは「⑭特別支援教育」でした。各教室で取り入れているユニバーサルデザインの視点からの環境整備や授業の進め方、あさかぜ（特別支援教室）、副籍交流等で行っている取組についての情報を発信していくことで、皆様のご理解を得られるようにしていきます。令和 5 年度後期と比較して最も変化が大きかったのは「⑥いじめ防止への対応」でした。児童がクラスで安定した気持ちで生活できていることが肯定的評価の増加につながったのではないかと推測されます。クラスでの安定は学校だけではなく、各ご家庭でのご協力が大きな要因の一つとなります。ご家庭でのご協力に感謝いたします。

3. 自分の振り返りアンケート（１～６年生児童）



全 13 項目中 10 項目で、令和 5 年度後期を上回る肯定的評価が得られました。「⑦仲良く遊ぶ友達がいる」では肯定的評価が 95.7%を超える高い評価となりました。ただ、「⑧相談できる人がいる」の項目で肯定的評価は 91.8%だったのですが、5 年度後期より若干肯定的評価が下がりました。助けてくれたり、相談に乗ってくれたりする窓口は全児童に必要であると考えます。今後、担任以外の教員や S C など、学校全体で子供たちを支えることができるようにしていきたいと思います。「⑬朝ご飯を食べている」も 97.4%と肯定的評価が多く、ご家庭でのご協力に感謝いたします。「⑩家庭学習」や「③自分の考えを発表」に関しては否定的評価が高くなっています。児童が自信をもって学習に臨めるよう、授業改善に取り組んでまいります。

※その他、自由意見でいただいた意見も今後の教育活動の参考にさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。